



第15号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437



希 望

東北地区連会長 増田 隆

希望は大事です。多分ほかの何よりも。私の使命は会員の皆様の胸に希望の光を灯す、お手伝いすることだと理解しております。

希望がなければ、食べる物も栄養として吸収され難く命は維持できません。だから希望は人間にとって絶対に必要な不可欠のものです。私の役目は皆さんが希望を持ち続けられるように絶えず鼓舞し地区連事業がスムーズにかどる環境を整えた上でリーダーシップを発揮することです。

東北地区連の皆様は年頭のご挨拶を申し上げます。橋本喜一日広連会長が1月1日発行の機関紙に「新年に寄せる」と題して挨拶をなさっています。それによれば所属事業所の年間売上高は平成9年の60%、組合員はピーク時の80%と落ち込みました。昨年末の日銀単観では業況が大幅に改善したと発表。穏やかな景気回復基調は間違いなく、広告業界も明るさが増してくるものと思われまふ。しかしながら景観形成基本法の制定、屋外広告物法改正、タバコ広告の規制など業界を取り巻く環境は大きい変化が予想されます。

打ち続くこうした苛酷な経済環境のもとでも我々は日々生き伸びていかねばなりません。去年の年頭にあたり高橋前会長さんは血の出るような自助努力も近い将来限界が来る。極限までムダを省き、従業員一人一人が自己責任を自覚してリーダーシップをとり、需要を創造する力を持った企業だけが生き残れる、と挨拶されました。

今こそ業界の連帯が必要なときです。交流し友情を深め、情報の輪を広げ、そこから新しい活力を生み出しましょう。仲間の輪を背

景に夫々が自らの潜在能力を引き出すのです。自分の足もとの地域を大事にして、時代に遅れないようにアンテナを張り巡らせ、一生懸命考えれば、必ず何かが浮かび上がってきます。

日広連、地区連にやって欲しいこと、各単組で取り組むこと、そして自分がやるべきことを見つけて一生懸命やっていければ、次の時代が見えてくるかも知れません。

以上のことを念頭におき、地区連会長として次の事業に重点をおいて実行いたします。

- 1 屋外広告士資格の各県条例への組み入れ促進
- 2 平成17年度、第47回全国大会開催準備
- 3 地区連各事務局間デジタルネットワーク構築
- 4 各県会員拡大へのサポート
- 5 東北6県公共キャンペーン作品展の開催

平成17年開催全国大会は、東北地区全体で取り組む事業という認識で各県理事長さんと一致しております。16年度はその準備期間として会員の皆様のご協力をお願いしなければなりません。

小さな力もより集めれば大きな力になります。我々サイン業を営む者は皆さんの力を集めた大きなエネルギーを使って、何事かを為し遂げるチャンスを、その手に持っているのです。有効に使えるよう、その力をお貸しください。

私はできることなら平凡な場所に居たい人間です。しかしまた自信を持ってリーダーシップを発揮しなければならぬ立場でもあります。常に自分自身を磨くよう心がけなけ

れば、たちまち足もとは荒波にさらわれて崩れてしまふでしょう。

そのために折にふれ立派な業績を残した人々の言われたことに触れて自分なりに咀嚼し、血肉にしようと努めています。

「稚拙は許せる、未熟もかまわない。だが心の病である粗雑だけは絵から取りはらわなければならぬ」105歳まで生きられた女流画家、小倉遊亀さんの言葉です。下手でもいい、ていねいにそして真剣にということでしょう。

「彫刻に独創はいらぬ、命がいる」
彫刻家ロダンはそんなふうに言っています。

この言葉を私なりにかみ砕いて考えてみました。

作品は上手下手ではない、一つのものを一生懸命、命がけでやれ。命がほとばしるようなものを作れば、それは必ず自分の個性が表現された独創的な作品にならざるを得ないのだ。そんなふうにはロダンは言っているのだと思います。この2人の持っている芯には共通するものがあると思います。

私も会員の皆様に申しあげたいと思います。「とにかく力を合わせて一生懸命やりましょう」



サインフォーラム東北

(東北地区屋外広告美術業組合青年部連合会)

会 長 根 本 幸 勝

予てから日広青連より、各地区連を立ち上げて、隣県との交流を図りながら、次世代のサイン業界を盛り上げていただきたいとの提起がされておりました。

それを受けて昨年、東北地区青年部長が会談を行い、今回(平成16年1月23日)『サインフォーラム東北』(東北地区屋外広告美術業組合青年部連合会)を設立する運びとなりました。我々は、次世代を担う準備をしている仲間であり、同じ東北人として親睦を深める事で、情報交換を行いながら、今後のサイン業界が、より活性化を図るためには、何が必要なのか?を、討議する組織を結成し、『温故知新』の気持ちで大切に、親会(諸先輩方)の皆様が今まで培ってきた事を吸収し、それを受けて我が青年部員が、親会に入る前に何を構築する事が必要なのかを、懇親会・勉強会などを通して、研鑽して行きたいと考えております。しかしながら、昨今のサイン業界は、かなり内容が変わってきているように思

えます。昔ながらの技術と現在のコンピュータ技術をいかに賢く使いこなすか?を、考えると同時に我々が、顧客に心から喜ばれるサインを市場に出していく為には、何が必要なのか?なども、話し合っていきたいと思ひます。当面の活動内容は、親睦を図り情報交換(技術情報や各県の青年部の活動等)を行う事が主体となっていくと思ひますが、来年の日広連及び日広青連の全国大会及び総会の開催が、東北地区(内定)という事を受けて『サインフォーラム東北』として、何かイベントを行いたいと考えております。

まだ、産声をあげたばかりの、『会』でございます。まだまだ、未熟な我々です。どうか、東北6県を包み込む大海原のような気持ちで、『サインフォーラム東北』の親としてご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

は、かなり内容が変わってきているように思

第26回 東北6県公共キャンペーン作品展

公共性の視覚化（第26回東北6県キャンペーン作品展・審査評）

武元 伸次

共同体の一員として、(意味するもの-意味されるもの)双方向の視点から視覚言語の含蓄するもの、表現性を思考してみる。情報網の拡張・スピード化とともに、脳化としてのイメージはグローバル的(健全な地球生態への希求)に多視点的にリンクしている。即ち、日常性、地域性のより良い姿を五感で享受できるように…。

交通路を挟み歴史的保存建造物に向かい河畔沿いに位置する“おでって広場”でのキャンペーン展示は正に共同体における自己表現としての(パッケージ化された脳化イメージ)の範例展である。メッセージ内容に対する、私語的、特化的解釈を乗り越えた客体化された“歯切れの良さ”を見る。日常消耗品癒着的表象の形而上の表出が伺える。素材の大半は環境・交通・平和に対する警告のメッセージの手工品である。キャンペーンの場に関わる全ての人、作品に対して敬意と継続の願いを表したい。



国土交通大臣賞

「技能五輪2004in銀河系いわて」岩手県(有)第一美工
「技能五輪・いわて」…<レイアウト>

4:3横位置画面の双対角線上に伸張する5本の指と地球の公転軌道を示す幾何曲線の立体加工化とともに平面的空間を拡張し、文字組のライン効果(視線誘導)を高めている。



岩手県知事賞

「うつくしま、ふくしま」福島県(有)芸プロ
「地球は正しく使いましょ・うつくしま、ふくしま」…<表現>

既製のシンボルマークを鏡面の球体とともにクリアーな空間性の表現を純平面で表現した。人型のアニメーション分解図が日常の時間性を表している。



盛岡市長賞

「自転車も飛ばせば怖い暴走車」岩手県(有)栄建
「自転車も飛ばせば怖い暴走車」…<技能>

簡潔・明快な書体処理は強さとスピード感に溢れている。キャラクターの部分的な切り起こし、色調の統一、緊張感のある単純化は速目にも十分なインパクトを有す。



日広連賞

「環境」宮城県(有)中倉サイン工芸
「戦争は最大の環境破壊」…<発想>

戦争・兵器の破壊的イメージ、シンボルによらないアプローチ、視覚言語的には静的な処理で、頁ディスタンス的表示。透明板の丁寧な型抜き加工に平和の有り難さが伝わる。



東北地区連会長賞

「よみがえらせよう!自然」山形県(有)大井看板
「タマガタタマちゃん」…<新鮮度>

話題性のあるキャラクターの目を引く画像デザインにより、暗いメッセージ内容を明るく、ソフトに伝えている。



優秀賞

「爆弾・核兵器なんていらない!」青森県 サン工芸
「NO BOMB」…<アイデア>

破壊力を封印したロゴタイプと半透明板による蜻蛉のような片足を失った子供、戦慄の余韻のような訴求力がある。



優秀賞

「福祉」秋田県 東京電装工業(株)
「万人万様」…<色彩>

擬人化された様々な鑿(用と美としての人間の道具)に施された繊細な透明色、教育の場における行き届いた躰、優しさ、清澄感、人間的誇りが見えてくる。



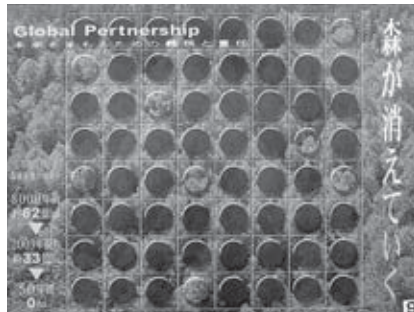
奨励賞

「うつくしま、ふくしま」福島県(有)エポック



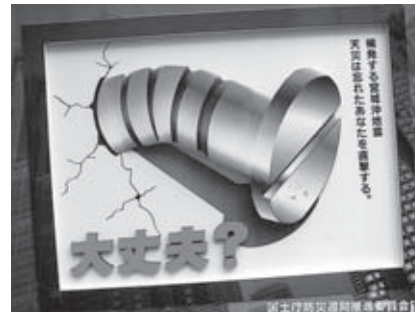
奨励賞

「夜間運転注意!」青森県 エムエムデザイン



奨励賞

「環境」秋田県 吉田カンバン



奨励賞

「大丈夫?」山形県(有)マルケイ工芸社



奨励賞

「うつくしま、ふくしま」福島県(有)ライオン堂

日広連印キャラコ (綿100%)

塗料のノビがよく、染みがない看板製作に最適なキャラコです。

品名	巾 × 長さ
日広連印A キャラコ	92cm × 115m 乱
日広連印B キャラコ	92cm × 115m 乱
日広連印C 天竺	115cm × 115m 乱
日広連印D 天竺	137cm × 115m 乱

インクジェットペーパークロス (ポリエステル100%)

インク吸収紙が余分なインクを吸い取り、生地裏まで染みず文字や絵が通るので、幟やタペストリーに最適な素材です。

顔料と水性染料(屋内)がご使用頂けます。

品名	巾 × 長さ
インクジェットペーパークロス	127cm × 30m巻 (3インチ紙管)

ストロングクロス (ポリエステル100%)

水性/油性塗料、スクリーン印刷、マーキングフィルムの貼付にご使用頂ける高級懸垂幕素材です。

従来の綿カツラギと比べ強度も強く、屋内・外でご使用頂けます。

品名	巾 × 長さ
ストロングクロス E100	100cm × 25/50m巻
ストロングクロス E130	130cm × 25/50m巻

カッティングキャラコ (綿100%) (樹脂コーティング)

マーキングフィルムの貼付はもちろん、水性/油性塗料での手書き・印刷ができます。裏面には撥水処理を施してあるので汚れにくく屋外でもご使用頂けます。

品名	巾 × 長さ
カッティングキャラコ A	92cm × 55m 乱巻
カッティングキャラコ D	137cm × 55m 乱巻

青森県屋外広告美術業協同組合 TEL 017-734-7302 FAX 017-734-7303
宮城県屋外広告美術業協同組合 TEL 022-257-0437 FAX 022-299-5433
山形県屋外広告美術業協同組合 TEL 023-633-1178 FAX 023-633-4925

岩手県屋外広告美術業協同組合 TEL 019-645-3140 FAX 019-647-3194
秋田県屋外広告美術業協同組合 TEL 018-823-8458 FAX 018-823-8460
福島県屋外広告美術業協同組合 TEL 024-524-0937 FAX 024-524-0938

商品についてのお問い合わせは **株式会社サンビッグ**
〒597-0061 大阪府貝塚市浦田179番地
TEL. 0724-33-1199 FAX. 0724-33-3222

ねぶたいのち



青広美理事長 千葉裕

日本海側の津軽地方と太平洋側の南部地方の風土の違い、生活の違いから互いの心の中に微妙な垣根があるようですね。建設的で気質が明るく素直であるという評判の

南部の人から津軽人を見ると、協調性に乏しくしつこいと、少々辛口のイメージを持たれていますが、私から言わせると容易に節を曲げない意地があり、気骨があると言いうことでしよう。だから津軽人には政界、財界に人が少なく、芸術家が多いんだと思います。人に阿ねないのが津軽人の自慢といえれば自慢です。商売人としてはちよつと苦しい部分がありますね。

青森といえば「ねぶた」でしょうね。ねぶたの語源はねむた、すなわち睡魔を吹き飛ばすような面白いことの意味らしいのですが、弘前では300年くらい前から盛んだったようです。単調な日常をおくっていた昔の人たちには、こういう1年に一度の大イベントが必要だったんでしょう。青森からねぶたを取ったら何も残らないと言うくらい青森県人の熱が入ります。私もねぶた製作に関わり、今は委員長をやっています。弟はねぶた製作を専門にしていますし、言わばねぶたは家業みたいなものです。新規に大きいのを作ると1,500万円くらいは掛るでしょう。大口スポンサーについてもらい、あとは協賛をいただくことで費用を賄います。大きいねぶたが25基くらい、小さい子供ねぶた

は60基くらいあります。七夕まつりの一環で、昔は港まつりと言っていたんですが、このねぶたまつりで動くお金は10億円以上にもなります。大勢の観光客の皆さんにも来ていただいているし、青森になくはならぬものですね。今ねぶた師と呼ばれる方たちが10人程いまして製作技術を伝承し競っています。針金で形を作ったところに美濃紙をはりまして、発電機を積んで、中に裸電球を何百個も灯すんです。練り歩くときの祭りがかもしだす熱気そして空気の匂いがたまらない。全員が参加して気持ちがいい。短いなあ。夏の暑気が来ると、裸で港まで走って行き、そのまま海に飛び込んで泳いだ子供の頃のなつかしい記憶が蘇ってきます。

八戸の大工場の他は有力な産業というものはありませんが、りんごなどの農産物、木材そして海岸線が長くて新鮮な水産物にはこと欠きません。おいしくて安い物が豊富にあつて、良い所です。冷涼の地で昔は4年に一度は凶作ということでした。苦しんだということですがそのかわりに明治以降「りんご」という特産物にめぐりあひ、県の経済に寄与しています。

我が社も昭和22年に脱サラで創業した父が突然他界しまして、せつかく

機能している組織を存続させたいという気持ちもありましたし、残された職人たちをどうするかということもありまして、自分がやることになりました。ですからまったくの社長業でここまで来ました。その昭和41年当時ナショナルさんの仕事をいただいていたしまして、当時としては結構な売上げがありました。

我が青広美も一時期、80人を数えたこともあったんですが今は50人台を推移しています。組織率は35%くらいでしょうか、青森、八戸、弘前、十和田に支部があります。東北は人口密度が低いんですが、とりわけ青森は低いような気がします。

典型的な消費都市で看板業を営む条件としては良いところだと思っています。昔からの交通の要衝としての役割からは変わりつつあると思いますが、構造に大きな変化はなく、消極的かも知れませんが人のつながりを大事にしながらとにかく何とか遅れないようにして行こうというのが当面の目標でしょうね。

SEKISUI

クイックデリバリーが私たちの自慢です

(営業品目)

- ・屋内用フィルム …… ハルカラー
- ・屋外用フィルム …… タックペイント
- ・転着用シート …… アプリケーション
- ・内装用高級シート …… パロア
- ・マシン関係 …… サインクリエイティブ
インクジェットメディア

お問い合わせは、下記営業所までご連絡ください

株式会社セキスイサインシステム仙台営業所
〒984-0038 仙台市若林区伊在東通4-1 3F
TEL (022) 390-0677 FAX (022) 390-0672
HP : <http://www.sekisui-sign.com/>

日広連・賠償共済のおすすめ

賠償第一共済

多くの皆様にご加入のスタンダードタイプ

賠償第一共済新DX

塗装・熔接事故も支払い対象。さらに、作業している壁面、ガラス等も対象。保険金は対人5億円、対物5,000万円。今、おすすめです。

賠償第二・第三共済

施主の保険＝第二。看板本体の保険＝第三。物件ごとの加入が出来ます。

社団法人全日本屋外広告業団体連合会

引き受け保険会社 東京海上火災保険株式会社
代理店・有限会社オールエージェンシー

マーケティングフィルム Viewcal900・880・560シリーズ
Hi Lucky・Lucky Color Sheet
インクジェットメディア SG JET・LS JET・LL JET
ラミネートフィルム Lag プロテクト・Lag マウント
プリント&カットソフト スターシリーズプロシステム・カルカタシステム
インクジェットプリンター&カッティングプロッタ

上記商品のご用命は下記へ!

サインディスプレイ システム&マテリアル
フルカラープリント

有限会社 青森桜井

〒038-0042 青森市新城字平岡109-687
TEL 017-788-9101(代) FAX 017-788-9102
<http://www.a-city.jp/aosaku/>
e-mail: aomorisakurai@nyc.odn.ne.jp

企画開発型商社 桜井株式会社

仙台支店
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1
TEL 022-237-1820(代) FAX 022-237-1823

<http://www.sakurai.co.jp>

岩手県



南部の律義は筋金入り

岩広美理事長 土村 雅彦

「何があっても約束は守り通す」そんな南部人の律儀を表すエピソードがある。長い間あいまいだった境界をはっきりさせましようという南部藩と伊達藩の話し合いがあった。方法は牛に乗った役人が同日同時に双方のお城の大手門を出発し、出会った所を境界にしようというのだ。そして決まったことには一切の文句なしという印に交渉役同志で刀の鍔を打ち合わせ金打（きんちよう）を交わし約束を確認した。伊達藩の役人は城下をはずれ人の目がなくなるや当然のごとく馬に乗り換え、距離を稼いだ。かたや南部衆は相手方がそんなことをしているとは思わず、牛歩を重ねる。結果、境界は北上の南の相去ときまった。しかしすぐにこのことは南部衆の耳に入った。「だました」と憤然として抗議する南部衆に対し「これは武略でいざ」と馬鹿正直にだまされる方が悪いと言わんばかりにつっぱねたばかりか、刀にかけて約束し、結果が決まると一旦は納得したことに、後で文句をつけるとは武士にあるまじき行いと反対にやりこめられる始末となった。ここで潔く引込んでしまおうのが南部の南部人たる所以なのだろう。

鎌倉期（伝承西暦1219）12月のある日、甲斐国巨摩郡南部村を飛び出した一団がいた。古来日本の国では田を持たぬ者は一人前とは認められなかった。そんな田を持たぬ次男三男が東海の浜まで押し出し、小舟に分乗し遠州灘の荒海に乗りだしたのだ。800年前、大陸への航海は別にして太平洋岸の外海を航海するものはいなかった当時としてはたいへんな冒険である。この8人の英雄的集団の頭が南部藩の遠祖南部三郎源光行である。遙か北に人もまばらな広大な天地があると誰かに聞き、限りのない大

地の王になる夢を抱き、冬の海を越え3ヶ月後に、後年小南部と言われた八戸の海岸に上陸した一行は相内村の観音堂で雪解けを待ち徐々に周辺を切り従え、ついには明治まで続く大名家となった。しかし人間を養うに大事な米の生産については、江戸期の石高が10万石と、現在の四国に匹敵する県の面積に比しては非常に少ない。しかし陸奥の地が蜜と乳の流れる国になるチャンスが明治期にあった。国土経営の一環として、ここを一大酪農の地に育てる策であり、可能性は十分にあった。だが明治政府は東北を意識的に忘れたかのように振る舞った。豊饒の地への芽は摘み取られ今に至っている。しかし人は輩出した。原敬、斎藤実、米内光政と3人の総理大臣を出した。岩手の生んだ3人の逸材は堂々たる容姿。開明的な物の考え方。困難な時局の中で他者に対して誠実を貫き通した。しかし日本はテロリズムにより原敬、斎藤実という岩手の生んだかけがえのない人材を失う愚をおかすことになる。

また南部藩に縁の深い櫛引八幡宮には国宝の大鎧が二領ある。殆どの細工が金製で赤糸絨模様が菊の紋章という日本史上類例のない豪華なもので第98代長慶天皇の持物と伝える。南と北に分れて天皇を並立していた時代の南朝の天皇で、北朝に押され吉野にも身の置き処がなくなった天皇が遠く南部の地に落ち延びた時からの南部衆の伝世品と伝える。伝説の域を出ない話ではあるが、流れ歩いたこの天皇の最期と墓所は今も明らかではないことと、この大鎧の存在の不思議さを考えると、まんざら眉唾ではないと思えてくる。

八戸の南に久慈がある。中世、姓を今と称する集団が住み、稲作も盛んだった。甲斐から来

た南部衆は始め久慈に目をつけたが、人数も多い今氏の勢いを考えて八戸に上陸し、やがて力をつけ、久慈を武力で従えることになる。しかし南部衆に押さえつけられるのを、いさぎよしとしない思いは久慈氏を名乗るようになった今氏の一族の共通の気持ちだった。世は移り秀吉の時代に久慈弥四郎という男が表れ、南部衆には従順を装いながら久慈氏の失地回復を計った。この男は、これといった有力な一族が見当たらない津軽に目をつけ、南部衆のために一肌ぬぎましようなどと言いつつ、久慈衆を率いて津軽に攻め入り津軽への一族大移動をはたしてしまつたのである。やがて津軽為信を名乗った弥四郎は天下の形勢に油断なく目を配り、出頭人と見た秀吉に使者を送り津軽を独立した一藩としてしまつたのである。自分の家来筋だとはかり思っていた南部衆の津軽への反感はここから始まる。弥四郎に言わせれば俺の方が先だと言いたかつたかも知れない。双方いわれさえも忘れられるような古い出来事なのだ。

久慈一族のたてた津軽衆との200年前の確執を忘れず、穏やかな名君で知られていた津軽候の駕籠に轟発するという、常識的知識人でありながらも、飛躍的な行動に走るのを厭わなかった相馬大作も、代表的南部人の一人である。

我々の生活にまつた益のない昔語りになつた。金を稼いでくれた林業が駄目で、県には新しく稼いだすお金がなく、同じお金が堂々めぐりをしているだけ。言うならば「一升ますの生活」である。

知名度と営業力を高め、技術力とレイアウトのセンスを磨き、仕事の完成度を高め納期を厳守する。結局はそんなごくごく当然のことに落ち着く。

日広連も一般会員を牽引できるお題目がないが岩手県理事長としては南部衆の建てた国の住人らしく「万事、運賦天賦」と荒海に漕ぎだす勇気がまだ体内に息づいているのを信じた。

サイン&グラフィックストータルサポート

フィルム・マシン取扱から出力・加工・施工まで各種サポート

デジタルグラフィックシステム

高耐久性大型フルカラー出力やバスマッピング、壁面、フロア等特殊アプリケーションからポスター、シール等のオンデマンドタイプまで各種スリーエムグラフィックシステムをご提案します
スコッチプリントイメージグラフィックス、DSP-1300アリゾナ、SPZ-1600M、3M
各種インクジェットシステム、エッジ、ルーター、スコッチマスタードリームベガ

スリーエムサインマテリアル&サプライ

スコッチカルフィルム、コントロールタックプラス、マスターカットフィルム、デザインシート、バナグラフィックス、ダイノックフィルム、スコッチライト、スコッチテント、ライトファイバー、VHB接合用テープ、スクリーン印刷
その他スリーエム各種製品取扱い

住友スリーエム(株)特約加工代理店 株式会社丸和商会

本社 宇都宮市瑞穂3-5-14 028-656-3611

- 仙台営業所 022-288-1351
- 青森営業所 017-722-7971
- 秋田営業所 018-866-3261
- 盛岡営業所 019-641-9541
- 山形営業所 023-631-3611
- 郡山営業所 024-946-4121
- 東京・高崎・水戸・沖縄営業所

看板資材 卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46

TEL (022) 254-0611

FAX (022) 254-0608

秋 田 県

組合のメリット



秋広美理事長 大友 英治

1773年、秋田藩主の招請を受け、技術改良のため阿仁銅山に向かう途中の平賀源内を角館で待ち受ける一人の若者がいた。秋田では巧みな絵を描くことで知られていた小田野直武である。当時のマルチな文化人であった源内が洋書によって西洋絵画の技法に詳しいことを知っていた直武は新しい絵画を描きたいと焦がれるようにして待っていたのである。源内は目を輝かせて熱心に知識を習得しようとするこの25歳の若者に、江戸での勉強を強く勧めた。日本の西洋絵画の揺籃となった秋田蘭画の曙だった。直武がさっそく報告した藩主佐竹義教も絵をこよなく愛する1人だったので、2人は殿様と家来という間柄を越え、親しい友人として西洋絵画の技法習得につとめることになった。更に2人の向上心は止みがたく、義教は直武に銅山産物方吟味役という役職を与え江戸に派遣したが、しかしその有り様は西洋絵画の技法習得が目的であった。源内の指導を受けた直武は翌年、杉田玄白の表した「解体新書」の挿し絵を描くまでになっていた。こうして日本で初めての西洋絵画制作の動きが秋田で花開くかに見えた矢先、32歳で直武が、そしてその5年後には藩主義教が早逝。秋田蘭画は完成することなく、その役目を閉じた。日本独自の西洋画として完成したとは言い難いが、新しいものに挑戦し、何事かを為し遂げようとしたこの2人の心意気は称賛されてしかるべきものであろう。

この秋田人2人の壮挙を考えると組合員であることにメリットがあるかどうかなどという議論を執行部にぶつけること自体、自分の行動力、企画力、想像力の少なさを、さらけだしているようなものだ。その自分の補うべきものにも気づかないというのがなお一層の反省点だろう。組合の運営を人まかせにしないで、やりたい

こと、目ざすものを自分の中であきらかにして執行部に突きつけて欲しい。組合をどんどん活用して欲しい。執行部の企画力に期待しても、それには限界がある。我々は会員からのアイデアを待っているのだ。資金状況の厳しい中で組合ができることには限りがあるが、いったん目標が定まれば、組合は発揮できる底力をまだ有していると思う。組合の数の下に寄り集まることそのものが、何かができる力を生むのだということを確認して欲しいのだ。理事はやりたくてやっているのではない。先輩たちが皆々と築いて残してくれたものを、次世代に手渡さなければならぬという使命感につき動かされ、ボランティア精神でやっているのだ。

組合が資金の吸い上げ団体だなどという認識を持つている会員は自分で理事をやってみれば分かること、どの組合もぎりぎりの財政で会員の利益になるように目いっぱい事業をしていく。 会員一人一人が自分の組合の現状を知れば会費値上げも止むなしという結論に達するのは理の当然だと思ふ。お金がからむことで当然抵抗はあろうが今の会費では運営が困難なところまで追いつめられている現状は変えようがない。 前理事長の突然のリタイヤで、引き受け手もなく私が引き継いだ、能代から秋田市まで60キロ、行って帰って3時間は自分の仕事に影響しないと言えは嘘になる。やはり理事長にふさわしい事業所の規模というものがあろうと思う。大手の社長さんとは仕事のレベルが違うこともあり話が合わないことがある。やはり県を代表

するような事業所の方が理事長を務めるべきだと思ふ。火中の栗を拾うなどと逃げ腰にならないで、業界のために一肌脱ごうという気持ちを持つた方が出てきて欲しいものだと思う。 看板業界もアウトサイダーが安く仕事を取っていつてしまうなどと言っているうちはまだ可愛いほうだった。今は異業種参入が激しく値段などは勝負にならないほど安くやっています。大手印刷業者にしてみれば大量の枚数を製作して貰う金額を看板屋は、たった1枚で貰うというので、それが大変な驚きであり魅力であるようだ。営業力は強力だし、とても太刀打ちできるレベルではない。 酒どころ秋田でも、昔はいっぱいあった酒造メーカーの看板の仕事も激減してしまっただが、10の自治体が回り持ちで10月末に7日間開催する種苗交換会が一日の人数が10万人以上と、開催地の看板業者もそれなりに、うるおうことができる秋田県のビッグイベントになっている。 開催の日はずいぶん降るといふジンクスもあつたが今年には好天に恵まれ78万人を動員した。そのほか能代市では5年にいっぺん「おなごりフェスティバル」と名づけた催しをやっている。市内各団体を網羅した能代市活性化協議会が主催し青森ねぶた、盛岡さんさ、秋田竿灯、浅草カーニバルの協力を得ている。今年には20万人の観客動員を記録し能代市になくはならないビッグイベントになっている。もちろん我々業界もうるおうと同時に一杯の協力も欠かせないと思つている。

運営の主体になっている青年会議所の若い力を見れば、不況に喘いでいるとは言え日本もまだ捨てたものでもないなと希望が湧いてくる。秋田の誇り、佐竹義教そして小田野直武が我々を見ている。 皆が心を合わせて組合活動を盛り上げれば看板業の未来も希望があると言ふことだ。



雪国の民俗・水神を祀るかまくら

屋外装飾用シート <ノックス>

NOCS2500

お求めやすい価格になりました

合理的で自由な色彩設計ができるように、色彩48区分トーン46段階の全2500色を体系化した独自のカラーコーディネーションシステム NOCS2500 (ノックス・ニー・ゴー・マル・マル)。従来の296色に加え、環境に対応する222色を追加。合計518色の充実した商品になりました。

株式会社 中川ケミカル

本社：〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 TEL.03-5835-0341 FAX.03-5835-0374

Total Display

素材販売 企画・設計 制作 施工

～新世紀の商空間づくりのために～

トータルディスプレイをプロデュースするキヌガワ・バックグループは、イベント、インテリア、そしてサイン、グラフィック資材を中心に、それぞれの分野で素材とノウハウを提供する情報発信開発型企業です。また移り変わる時代の流れの中で、新しい価値観、新しい志向を模索し、最先端技術から、将来を見据えたナチュラル志向まで、限りない新素材を常に提案し続ける会社です。現況のディスプレイ・サイン・デコレーションの世界は、ますます独創的な発想と表現が求められており、商空間を演出するクリエイターの皆様へ逸早く情報の提供と、製品の開発・提案が大切な仕事と考えております。これからも商空間を演出するアーティストの皆様の感性を刺激し創造力を広げ、より独創的で斬新な商空間づくりのお役に立つよう精進して参りますので何卒、宜しくお願い申し上げます。

- ◆商空間資材開発・販売(オリジナル製品開発・販売) ◆各種マーキングフィルム取扱代理店
- ◆各種看板資材販売 ◆各種インテリア資材販売 ◆サイン・グラフィック広告物製作
- ◆イベント・常設用システムパネル販売 ◆各種SPツール開発・販売

TOTAL DISPLAY 株式会社 **パック** (東京) Home Page/ <http://www.pack-display.com/> E-mail/ info@pack-display.com

江東店/〒136-0073 東京都江東区北砂1-4-19 ☎03-5690-3611 ☎0120-03-3711
板橋店/〒174-0037 東京都板橋区小茂根3-6-23 ☎03-3973-3300 ☎0120-89-3321
城南店/〒143-0024 東京都大田区中央8-28-8 ☎03-5747-6310 ☎0120-57-3690
葛飾店/〒124-0022 東京都葛飾区奥戸6-14-10 ☎03-5654-1251 ☎03-5654-1250

TOTAL DISPLAY 株式会社 **キヌガワ** 大阪・京都・名古屋・神戸・岡山・広島・高松・福岡

宮 城 県



無事これ名馬

宮広美理事長 杼窪昌之

「無理をすることはしない。平穩無事が一番それが先代社長が良く口にする言葉だった。時代の波に乗って急成長して行く同業各社を見ながら、歯がゆい思いを噛み締めることも幾度かあったが深刻な不況が収まらない今となれば、良いことばかりが長く続くはずがないという父の見通しを尊重したことが、わが社への経済混乱の影響を最小限に止めることが出来た原因だ。賭けを極力排除し、失敗しないよう努める。言うならばそのスタンスが会社を継続させているのだと思う。会社を維持し家族や従業員の生活を安定させ、なおかつ社会に還元していくことで社会に役だつ自分があることの意義を見出す。精神衛生上、あるいは健康の為に、私の人生でこれの持つ意味は大きい。

商売に冒険はつきものだといって憶病を笑う向きもあるかと思うが、成功をつかみとる上で運、不運はつきものだ。そしてそれには器量は言うに及ばず個人の性格も色濃く影を落とす。家族をふくめ大勢の人生を賭けてまでやる必然性を見出すのは、なかなか難しい。

しかしながら人口の多い仙台という都市で商売をしている有利さもある。一人一人が独立採算で動くことで業績アップを目指している。商人としての意欲が薄れているわけではない。自分自身の意欲を研ぎ澄ましていけば、あるいはチャンスをつかめるかも知れない、心の中にそんな部分はちゃんと残っている。

すずめ百までというが高校時代にクロスカントリースキー競技でつちかつた耐久力が、ふんばりどころで力を発揮してくれることを信じている。退く勇気というが、準備をして待っていても



東北地区連合同会議 平成15年11月22日 於 盛岡市内

来ないときもある。それが自分に与えられたものだとなつて、無理押ししない分別もまた人の生活に責任を持つ経営者の心得として必要なものだろう。

伊達政宗は英雄で伊達家の中興の祖として崇められている。しかし彼の先祖、子孫のすべてが英雄だったわけではない。一気に成功の階段を駆け上る人もいれば維持する役目の人もいる。自分の分をわきまえるのもまた必要なことだと思ふ。

「無事これ名馬」が座右の銘とわきまえてゆきたい。

「成功するリーダーの条件」

東北地区連情報文化委員長 磯川 広昭

- ①リーダーは明確な意志を持たねばならない。人が2人以上いれば必ずリーダーが生まれる。そのリーダーは人よりも明確な意志を持つ者である。
 - ②リーダーは自分の肉声で、行くべき道を人に語りかけ、共感を獲得しなければならぬ。
 - ③事を決するのは現場だ。リーダーは敏感にその空気を嗅ぎ分け、勝利のために有効な手を編み出す。最前線がリーダーの居場所なのだ。
 - ④決断を人にまかせてはいけない。決断しないリーダーはリーダーでなくなる。他人の意見を良く聞き、自分の責任で決断する。それがリーダーの姿だ。
 - ⑤成功を2、3回重ねると人は自分が特別な存在だと思ふようになり、人の忠告を聞かなくなる。傲慢になるのだ。傲慢は人間を滅ぼす最も重い病気である。誰も意見を言わなくなったら、その人は成功の頂点にいない、奈落の崖っぷちに立っているのだ。
 - ⑥リーダーは人事、賞罰で怨みを持つ人を作つてはならない。組織の中の怨霊は人目につきにくく紛争の種になる。能力があるのに冷や飯を食わされていると密かに考えているような人の鎮魂は、たとえそれが見当はずれであったとしても、リーダーの大事な仕事である。
- 「執行力 Execution」は時代のキーワード。経済の困難にみまわれている米国でも、変革の進まない日本でも経常の最重要テーマになっている。管理職の仕事が本場で戦略を描くことから現場で執行をリードすることへ変わっている。企業変革の難しさは立案や制度設計ではなく現場での執行にこそあるというのがその考え方。戦略は台本に過ぎず、問題は社員がその台本をしっかりと身につけて舞台で演ずることができかねる。台本が一流でも肝心の役者が二流なら劇場は閑古鳥。いわゆる絵に描いた餅になるのだ。
- 変革のシナリオはある程度は誰にでも作れるものだ。大多数の人がこうすれば良いと分かっているとしても、実行は数少ない人にしかできない。それが執行力のあるなしということだろう。実行可能な目標を掲げて実現し、意欲的な目標を広げ、実現を勝ち取る。有言実行である。どんなに素晴らしい考えと説得力のある話ができる能力があっても、要はその後、何をし遂げたかできる。

価格下落はまだまだ続く... 当社はデフレに対応します

材料販売

インクジェット用資材からスクリーン資材、POPツール等 世界中から最適品を直輸入！

- ・水性顔料、溶剤系インクジェットプリンタ用メディア各種
- ・マーキングフィルム
- ・スクリーン印刷用資材
- ・転写用材料
- ・ラミネートフィルム
- ・パネル、フレーム など

設備販売

実演、見学はご相談ください。導入後の代替出力等のアフターも万全です。

- ・インクジェットプリンタ(SII、ミマキ、ローランド、ムトウ他)
- ・昇華転写機
- ・彫刻機
- ・スクリーン印刷機
- ・周辺機器(ウェルダ、ハトメ機、ロープ通し機) など



※台湾、韓国、中国のサイン業界視察希望の方はお申し付けください。



東北ミノギター株式会社

山形県

野武士の誇り

山広美理事長 増田 隆

「その心意気や良しとでも言いますか。その意気盛んな雰囲気が好きなんです。野武士会の方々の気持ちが良く分かります。」

一 我は禄を食んで

操志を売る宮仕えを忌み

堂々槍一筋を持って野に戦う

二 独立自尊を誇り

山む士山賊の類に群ずることなし

三 驕慢にして似て非なる紳士に同ぜず

協存と旨とし文化を愛する

50年の歴史を誇る野武士会の綱領だ。

「山形県の人には性格がおだやかで極端がなく、バランス感覚があり、冒険を好みません」

その落ち着いた話ぶりを聞くうちに、個人的な印象だが頭の中に「明晰」という文字が浮かんだ。「企業感覚」というのは、いつも創業者の気持ちでということでしょうね。何代目だから、こういうふうにといいことはありません」

考えなしに4代目としての心構えを聞いてしまった質問にはきつぱりと、そう言いさられた。創業80周年になろうとする老舗の経営者として、あたりまえのことなのだろうが、しかしながら厳しい社会



情勢の中、重圧感をはねのけて自分を保つのは並みの強さではできないことだ。「口はばつたいことを言うようですが、経営感覚というのは個人に属するものです。学んで学べるものではない

いような気がします。決断は人にやってもらうわけにはいかない。決めるのも、その結果を受け入れて責任をとるのも自分ひとりです。客観的に見てこれが正しいんだと言い切れるものはない。決断の結果は、遠い未来になってようやく見られるものなのかもしれない。私に限って言えば経営というものは、見ておぼえたものですが、ずっとやってきて言えることはそんなことです」

大手ゼネコンさんなどを安定的な顧客として支店を東京と仙台に置き、地域に根ざした活動を通じての仕事の掘りおこしも、重要視している。

経済の波が動くところに新しいトレンドができ、需要が生まれる。特老、病院、銀行、損保、特にホテルは好況の中で東北一円を手がけた。

年間売上計画を示し営業の目標を与える。営業会議は週2回、各個人に、どんなアプローチでいくか指示する。細かいタイムスケジュールは個人の裁量だ。現場の工程会議は毎日夕方、営業と現場の意見がぶつかるのは、あたりまえのことだ。ようはバランスをどうとるかだ。

力を合わせ、遅れをとらないよう常に新しい知識と技術の吸収に務めよう。自分の持つ力で社会につくし、幸せになろう。こんな考えを基本にして社訓を定め社内和を計っている。

「継続を計ることは大事です。しかし必ず次世代に渡すという考えがベターなのか。自分が作ったものは自分一代で完結させてしまうという選択肢があってもいいのではないかと考えるときもあります。また最近の景気動向などを見ると回復のきざしなどと報道されていますが、やはり生き残りをはかるには自助努力しかありません。一つには技術的にしつかりしたものを

持ち、しかも新しい技術を取り入れることに研究熱心。二つにはニーズを読みクライアントの気持ち察して素早く形として提供するための営業力、企画力などの総合力の強化です。そんな企業がこれから望まれる企業だと思えます。そして夢を見る力を持ち続け、パワーを持続することでしょうね」

パワーの充電に役立っているのがテニス。体を動かすことで無心になり、集中できるから気持ち良くなってくる。雑念が去り、リラックサしてさあ明日もまたやるぞという意欲が高まってくる。年を重ねると共にカバースコアの範囲も狭まってきているが、うまくしたもので老練という武器が使えるようになってくる。

村山市に居合の創始者、林崎甚助を祀っている居合神社がある。居合は不可能を乗り越えるために工夫された技だ。甚助は戸を開けた瞬間に3センチの刀を喉元に突きつけられたらどうするという課題を自分に課したのだ。今日は負けたがまたあした頑張れば良いという現代のスポーツ化した武道ではない。なにせ命が掛かっている、簡単にあきらめる訳にはいかないのだ。絶体絶命だが何とかして生き延びたい、そんな矛盾を克服して生き延びるための技術が100日の苦心を経て編み出された居合だった。それは筋トレや瞬発力を磨くことからは決して生みだされない技だった。一瞬の後に自分の喉を貫く刀、そこから逃れる手段として考えられたのが、タメを作らず瞬間に膝を抜き、一瞬の無重力状態の中で体を後方に倒しながら大刀を抜き追ってくる敵に刀を投げつける、逆手抜飛刀打の技だった。矛盾を矛盾のままに矛盾なく。我が郷土の達人、林崎甚助の残した言葉だ。

若いときコネチカット州エール大学とワシントン州のジョージワシントン大学で語学の講座を取った。夜中まで開いている図書館で真剣に勉強する人たちが大勢いた。日本との温度差は大きかった。井の中の蛙。1年半のアメリカ暮らしの実感だ。アメリカで知り合った人と話すうちに強く印象に残った言葉がある。心の平安こそ人生というその言葉。

「生きる目標はHAPPY MANになること」

シルク印刷アドバイザー

東北シルク(株)

山形市宮町二丁目13番11号

TEL **023-641-2215**

FAX 023-641-2788

www.tohokusilk.co.jp

3M ScotchPrint Grand Format Print

各種メディア
ターボリン
メッシュ
耐水紙
PPフィルム
フロアシート
透明シート(ガラス用)
乳白シート(内照用)
各種布
ワンウェイビジョン
反射シート
グラフィック用塩ビ
再剥離塩ビ

最大プリント3050mm幅のスケールで
外照用・内照用を問わず
多彩な大型グラフィックを実現。
さらに屋外3年の耐候性。
多彩なメディア

DigitalSolution
(株) **三 栄 社**

〒990-2414
山形県山形市寿町13番22号
TEL 023-624-3100(代)

http://www.sunkou.co.jp/
Eメール: nagai@sunkou.co.jp
永井まで



玄流の名に夢託す

福広美理事長 黒澤 功

書宗院無鑑査院友、日本書人連盟師範そして全日本書藝文化院師範として雅号、黒澤玄流を名乗っている。三體千字文の「天地玄黄」の玄だ。天地の始まり、深い理（ことわり）の意があり、玄妙というような使い方もあり、深い言葉でもある。玄には「黒」の意もあり、ご本人は何もおっしゃらないが、自分の流儀を世に問うという心意気が、その名前に込められているのかも知れない。

遠く磐梯山を仰ぎ、白虎隊奮戦の地である茫々たるススキが靡く大野ヶ原の原野を、夕闇の中を毎日、淋しさ怖さに耐えて通学する少年の心にいつしか画家をめざす志が芽生えたのも、自分の好きな絵で裸電球1個の暗さと淋しい原野から脱出したいという切なる願いからだ。画業からはいつしか遠ざかってしまったが、書で名を成すことができて、達成感はある。何でもそうだが死ぬまで修行というし、現在に満足



しているわけではないが、今は自分の人生をふりかえり、その残した足跡には評価されるものがあると思っている。作りあげた大きな組織をフルに使い、思いきり仕事のできた夢のような時代があったが、過去は過去、今は時世が求める伸縮自在の小回りの利く組織で、精一杯動きまわり、暴れまわり、そして生き抜く。それが現在の会社のスタンスだ。一本気ゆえに不本意な敗戦に腹を立て、太平洋戦争終了と共に郡山の保土ヶ谷化学での社員生活を投げ出し、開拓農家へと転身してしまつた父をせめるわけではないが、できた作物で生活が成り立つまでの7年間の生活たるや、思いだしたくもない記憶のオンパレードなのだ。御飯がつまつた弁当などは夢のまた夢だった。修行先の東海堂さんで9年間お世話になり、東海堂流の楷書も、いつしか自分流の楷書になり、師匠に注意されることもなくなっていた。暖簾分けとまではいかなかったが独立。その後は銀しゃりと縁のきれいなこともなく、今に至っている。修行の9年間、1月に休みは半日だけ。毎日8時ころまで仕事をしたあと食事。そして夜遅くまで作業場の板敷きに字を書く練習をする。板に直接書くので必ず拭き掃除は欠かせない作業だった。ハングリーな気持ちの後押しをしてくれたのだろう、字の上達は人より早かったと思う。体一つで原野を3町歩も開墾した家族の気持ちを思えば、白い御飯を腹いっぱい食べながらの修行は苦勞とは思わなかった。一本立ちのあとは順調に業績も伸びつづけ、

オーナーとして頂点を極めたと思つた時もあったが、長びく不況はこの業界に深刻な打撃を与え、苦しめている。理事長とは言え加盟各社さんの業績を伸ばす画期的な名案などあろうはずもなく、言えるのは個々の才覚で何とか生き延びてもらうということだけなのだが、とにかく組合が皆の精神的支柱として機能するようにしたいと思う。

数年前ロータリークラブ会長に指名され1年の任期を終えた。ロータリーの縁で各地のクラブ親交を結んだが、戊辰戦争で白河以北一山百文と言いつ捨てた長州人とは、やはり恩讐を越えてとはいかなかった。城下で戦死した兵士の遺骸が、葬るのを許されず1月の余も路上に打ち捨てられるままにされたのは、あまりにも人の道に外れているのではないかという思いが会津人の脳裏を離れないからだ。会津母成峠で戦つたのち五稜郭で戦死した新選組副長、土方歳三の建立した近藤勇の墓も会津平野を見守っている。

明治期、長州の東北、特に会津に対する目は冷たかった。それへの会津の怨念は今も深く解き難い。しかしながら一方で、生まれ育つた会津は「忍耐」の書を残した世界的医学者、野口英世博士のふるさとでもあり、そのねばり強さを受け継ぐ会津人として前向きに職務を全うしたいと思う。

情報文化委員会からのお知らせ

東北地区連情報文化中央委員 磯川 広昭

合同情報文化委員会での申し合わせを受け、地区連会議で現行の日広連出版物（サインズインジャパン、日広連）にこだわらず、一般会員が真に必要な機能紙の形がどんなものであるかの検討の場を設けるよう日広連にお願いしていただくよう要望しました。地区連の性格上、前例はないとのことですが提出していただけるようです。

日広連ホームページ「e-Signs」の利用率アップの要望がありました。青年部などの協力を得て各単組の取り組みをお願いします。

「有効に使った一日の終わりには快い眠りが訪れるのに似て、有効に使いきった一生の終わりには快い死が訪れる」レオナルド・ダ・ビンチの言葉

海より広いものがある。それは空だ。空より広いものがある。それは人の心だ。ビクトル・ユゴー（レ・ミゼラブルの著者）



株式会社 八セガワーク

看板・ネオン・LED・店内外装・企画・デザイン・設計施工

本社 〒960-8163 福島県福島市方木田字前白家9-9
TEL (024) 546-1381 FAX (024) 546-1395
東京支社 TEL (048) 225-7965 FAX (048) 225-7985
仙台営業所 TEL (022) 277-6838 FAX (022) 279-9103
札幌営業所 TEL (011) 822-6633 FAX (011) 822-6603

東北エスピー株式会社

営業品目

屋上塔・屋内外サイン等
デザイン・設計・製作施工一式
メンテナンス・媒体調査

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字中田34-1
TEL.(024)922-0076 FAX.(024)922-0084
【URL】http://www.tohokusp.co.jp/
【E-mail】info@tohokusp.co.jp

